

ヘルニア(鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア、横隔膜ヘルニア)に対する手術に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

ヘルニア（鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア、横隔膜ヘルニア）は、体の中の臓器や組織が本来ある場所から飛び出してしまう病気です。外科の治療ではよく見られる病気で、生活の質（QOL）に影響することがあります。多くの方が手術で治療を受けていますが「どんな人に起こりやすいのか」「手術後に合併症や再発が起きやすいのはどんな場合か」などまだはっきりとした答えはわかっていません。

当院では、毎年多くのヘルニア手術を行っております。治療のデータを詳しく調べることで、再発や合併症を防ぐ方法を見つけ、より安全で負担の少ない治療を目指しています。

本研究は過去の診療記録を収集し、治療の有効性を検討します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2023年3月～2025年8月に予定手術でヘルニア修復術を実施した方です。

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無、合併症の有無と内容、再発の有無 など

使用開始予定日：2025年10月31日

研究予定期間

2025年10月31日～2028年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 外科 堀之内誠

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 堀之内誠

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)